

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2009.11.16

No.1933
No.16



出席率 | 会員54名中40名
先々週の出席率 | 87.76%
ゲスト | 2008~09年度R財団国際親善奨学生
朝妻美千代さん

先週の
メイクアップ | 11/12 新潟西RCへ 野崎正明君
11/12 三条東RCへ 大溪秀夫君
11/13 新潟東RCへ 野崎正明君
11/14 2010~11年AG研修会(上越)へ
葦澤喜一郎君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

挨拶をさせていただきます。
本日の卓話の講師である、2008~09年度ロータリー財団国際親善奨学生の朝妻美千代さん、よろしくお願い致します。

冷蔵庫を初めて買ったのはいつ頃だったのでしょうか？ 昭和38年頃ですと、当時の値段は45,000円位でした。この時の一般的な給料が15,000円前後で、約3ヶ月分の値段でした。現在ですと、月給25万円として75万円位ということになり、買うのに相当覚悟のいる高嶺の花だったのでしょうか？

冷蔵庫の普及率は、昭和35年で10%、昭和38年で40%でしたが、昭和45年には90%と10年間で急激に上昇していき、まさに高度経済成長の真っ只中です。

現在、新興国の代表である中国の普及率は、2008年では都市部93%、農村部30%となっており、都市部と農村部でずいぶん格差があるのですが、農村部の人口が55%ですので、おおよそ中国全体の普及率は58%と推測され、これは日本の40~41年と同じ位、日本と中国のタイムラグは42~3年ということになります。

中国は現在、「家電下郷」キャンペーンで、購入者は13%の補助金を受取ることができます。代表的な冷蔵庫メーカーのハイアールの一般的なタイプの値段が2,400元(約33,600円)。農村部の月給が約1万円ですので3倍ということになります。

また、インドの場合は、人口や世帯数も正確な数値が掴めないため、冷蔵庫の普及率についても正確なデータはありませんが、ある程度大雑把な

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三条北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫 本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL http://www.sanjo-minami.jp

予測（NCAERによる）で、約20%とされています。これは、日本に置き換えますと昭和36～37年に当てはまり、電気も届いていない村が多いということですが、経済成長著しい現状から考えますと、今後、加速的に冷蔵庫等の家電製品の普及率が高まるでしょう。

冷蔵庫の普及率一つ取ってみても、日本と比較することによって中国やインドの現状がわかります。

昭和40（1965）年当時の日経平均株価は、1,000円ちょっとでした。その後、1989年の38,000円台まで、24年間で30倍以上になりました。

今後、この新興国の成長性に資産運用や投資行動を考えてみるのも良いかもしれません。



MENU

シーフードのコンソメスープ	89 Cal
チキン&ポテトサラダ	125 Cal
ビーフカレー	827 Cal
チョコレートケーキ	158 Cal

会場変更 於：三条ロイヤルホテル

表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

1,000ドル以上寄付した者は、その後1,000ドル寄付することにマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。2,000ドルから9,000ドルまで8段階あります。
 （例2,000ドルに達した場合、段階1になります）
 2,000～6,999ドルまではサファイア入りの、6,000～9,000ドルはルビー入りのバッジが贈られます。

鈴木圀彦君 野水孝男君 （段階 1）

財団委員会より

今年度、当クラブのロータリー財団への寄付目標は@150\$です。すでに@100\$×54名分の送金をすませております。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後も宜しくお願い致します。

幹事報告

荒澤 威彦 幹事

新井ロータリークラブより

創立50周年記念式典 出席お礼

※ 11月8日 馬場信彦パストガバナー、佐藤会長 出席

三条市特別支援教育研究協議会より

12月4日開催予定「市内支援学級、児童生徒のウィンターフェスティバル」中止のお知らせ

※ 新型インフルエンザ拡大懸念のため中止となりましたが、子供達へのクリスマスプレゼント協力金として例年通りスマイルBOXより10,000円拠出させていただきます。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～11月 9日 12,000円
今年度累計 235,000円～

- 大 溪 君 先日の母の葬儀に際しては多くの皆様からご会葬いただき有難うございました。
- 佐藤（嘉）君 今月は「R財団月間」です。奨学生の朝妻美千代さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
昨年は11月19日に三条に新雪が降りました。急に寒くなってきました。ご自愛下さい。
- 野 崎 君 ローターリー財団月間です。卓話に2008～9年度国際親善奨学生、朝妻さんをお呼び致しました。よろしくお願ひ致します。
- 吉 井 君 当クラブの米山奨学生タキ君がようやく一社から就職内定を頂きました。色々のご心配をおかけしましたが、本人もホッと一息の様子です。11/30の例会には出席するとのことでした。
- 荒 澤 君 朝妻さん、ようこそ！
今日はよろしくお願ひ致します。
- 馬場（輝）君 本日は、財団親善奨学生の朝妻美千代さんをお迎えすることが出来、大変嬉しいです。是非、楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったことなどお聞かせ下さい。
- 田 代 君 朝妻さん、本日は卓話に来ていただき有難うございます。
- 吉 田 君 先週はクラブを欠席して、5日から12日まで玉川温泉へ行って来ました。ラデュウム岩盤ミストサウナが出来て、具合が良いようです。
- 若 井 君 2週連続の会場変更で申訳ありません。
- 坂本君、田中君 BOXに協力致します。
- 平松君 本日ニコニコ担当の平松です。ご協力有難うございました。

Speech

ロータリー財団月間

卓 話

「留学から一年 ～変化と成長～」

2008～09 年度
ロータリー財団国際親善奨学生
朝 妻 美千代 様

2008-09 年度国際親善奨学生として、去年 9 月から 11 月までの 3 ヶ月間、イタリアのフィレンツェにある「ダンテ・アリギエーリ・イタリア語学センター」で語学研修をさせていただきました。このような貴重な機会をいただき、ロータリー財団及び各ロータリークラブの皆様には、改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。あれから 1 年が経ち、学生から社会人となり、自分を巡る環境も、社会的立場も大きく変わりました。現在、県内の IT 企業で営業として働いています。留学の目的は、語学力の向上と修士論文作成に向けた調査・史料集めでしたが、それ以外にもたくさんのことを学ぶことができました。

普段の生活では、あまり実感することはないのですが、このようにロータリークラブの例会に参加させていただき、スピーチをさせていただく度に、「留学経験によって得られたもの」を実感することができます。留学経験によって自分の考え方や物事に対する姿勢が変化し、留学前の自分からはずいぶん成長したのではないかと感じるのです。



3 ヶ月間という短い期間ではありましたが、多くの友人をつくることができ、彼らとの交流を通してたくさんのことを学びました。彼らとは今でもインターネットを通じて連絡を取り合い、交流を続けています。語学学校に通い始めた頃は日本人の学生が一人もいなかったため、とても心細い思いをしました。しかし、学校のクラスは多国籍で、言葉は通じなくて苦労するけれどもお互いに助け合っているという雰囲気があり、すぐに馴染むことができました。彼らとの出会いと、その交流を通して得られたものは、日本での日常の中では決して得られないものだったと思います。当たり前なことなのですが、世界には多くの国と文化があり、それぞれ違う生活を営み、考え方をしているのだと実感できたのです。



彼らとの交流を通して自分に得られた変化としては、非常にポジティブ・シンキングになれたということです。留学前、就職活動がなかなかうまく行かなかったこともあり、将来に対する不安ばかりが募り、精神的に不安定な状態で留学するという状況でした。留学中に他国の友人とも将来について語る際も、私は常にネガティブな意見しか言えないでいました。

しかし、彼らはいつも私にこう声をかけてくれたのです——「Chi Sa?」（誰が知っているの? = (将来のことなんて) 誰も分からないでしょ?)。そう言って、やってみなければ分からないと、私をいつも励ましてくれるのです。彼らは私よりもポジティブに物事をとらえ、将来に希望を持っていました。それまで今の自分の状況に対して不満や不安を持ち、将来に対してもネガティブにとらえがちだった私にとって、「Chi Sa?」という言葉はとても心に残るものとなりました。「今の自分の状況や環境から自分の未来についてネガティブに考えることはない。将来、自分の希望を叶えていけばいい。焦る必要はない。」このようなポジティブな考え方をすることで、気持ちに余裕ができ、非常に楽になりました。今でも、仕事をする中で不安なことがあるとき、「Chi Sa?」と自分に問いかけ、先入観にとらわれないように、可能性を否定してしまわないように努めています。この言葉が、不安によって立ち止まっている自分の背中を押してくれるのです。

このような素晴らしい体験の一方で、イタリア滞在中には「差別」という悲しい体験もしました。韓国人の友達とカフェのカウンターでコーヒーを飲みながらおしゃべりをしていた時です。隣に割り込んできた西洋人の男性がわざと肘で友達を押しつけたのです。私は目の前で起こった出来事にとても驚き、ショックを受けました。そして、彼に対して怒りも感じました。韓国人の友達から、一部の西洋人は東洋人を差別しており、このような扱いを受けるのはよくあることだと言われました。とても悲しい出来事でした。しかし、この体験を通じて、日本で生活する中で自分も同じように特定の人に対して「差別」を行っているか、よく相手のことを理解もせず先入観を抱いていないか考えるようになりました。人によってそれぞれ違う環境で育ち、考えを持っているということを、この留学を通して改めて認識しました。

フィレンツェのロータリークラブとの交流では、私の故郷・新潟について少しでも関心を持っていただけるように努めました。スピーチの際には、念入りに準備を行い、留学前に取っておいた写真などを利用しました。派遣先であるロータリークラブ・フィレンツェ・ブルネッレスキでは、カウンセラーであるレオナルド・モロツィ氏をはじめ、温かく迎えてくださいました。例会への参加を手配してくださるだけでなく、ご自宅でのパーティーにも招待してくださいました。モロツィ氏には、3月にフィレンツェに旅行に行った際にお会いいたしました。今後もイタリアのロータリークラブとの交流を続けていけたらと思います。個人の留学では絶対に体験できないことを、国際親善奨学生という立場で経験させていただきました。



現在、社会人1年目として会社で働き、生活の中でイタリア語を使用する機会はないのですが、留学を通して得られた考え方や物事に対する姿勢の変化は、仕事をする上でも大きく影響しているように思えます。まだ入社して半年ではありますが、商品開発にも携わらせていただき、忙しくても充実した日々を過ごしています。留学経験をバネにして、今も毎日成長し続けているように感じます。今後もいろいろな経験をしていくことになると思いますが、私にとって留学経験はとても大きな変化と成長の機会となりました。



月信

国際ロータリー第2560地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

11月号



「ロータリー財団月間に向けて」
—世界に開こう、心と目を—

国際ロータリー
第2560地区 2009～2010年度
ガバナー 植木 康之



本当に幸せは、自分だけの小さな世界からは生まれないのであります。私達大人の社会でも、しばしば見られる他人迷惑なモラルや責任感の無さなど、世界や社会との連帯感の無い生き方にも原因がある様に感じられるのです。

外国人から見て日本人は3S民族だということです。それはSmile(笑い)、Silent(沈黙)、Sleep(居眠り)という三つの悪いクセを持っていると指摘しています。

これは外国人だけでなく、私達日本人としても十分に感じているところですが…。例えば会議などに出席した時、日本人は周りに同調して無意味に笑う…。また会合などでも、人の話は熱心に聞くのに、さて「何か質問は？」と聞かれると、いっせいに沈黙してしまう…。さらにところかまわず居眠りのふりをする…。こう言われてみると、私達に当てはまることの気がしますね。

このような3S人間では、相手の立場や心情を正しく理解することも、自分の気持ちや意見を十分に相手に知ってもらうことも出来ないわけですから、とりわけ国際化時代と言われている現代に、無能人間のような印象を与えることになり、日本人の評価にもかかわることは残念なことであります。また東南アジアの人達の日本人に対する印象にしても、「日本人は何処に行っても、日本人だけで集まっていて、その国の社会に溶け込もうとしないし、言葉やマナーを覚えようとはしない」など、周りとの協調性やコミュニケーションが乏しいことを感じているようです。

いずれにしても、集団の中で他人と心を通じ合えない、他人の気持ちを理解できない、相手の立場に立って物事が考えられない、ということは、一人前の社会人としての人間性を備えていないことになり、時には迷惑人間として社会からも周りの人達からも相手にされなくなってしまいます。これは不幸なことではないでしょうか。言い換えれば、私達が幸せな人生を築くためには、まず他人や社会と協調出来る、豊かな人間性を育むことが大切なのです。

「井の中の蛙、大海を知らず」とか「可愛い子には旅をさせよ」ということわざがあります。自分だけの殻に閉じこもっているのは、自分の周りの小さな世界が全てだと思い込んで、広い視野に立った正しい判断も出来ません。つまり自己中心、他人のことが考えられない人になってしまいます。ですから私達は、社会を知り社会の中へ積極的に飛び込んで行くことによって、周りの人達との連帯感や協調性が身につく、他人のことを思う気持ちも育っていくのです。さらに社会の厳しさに直面することによって、初めて自分を抑える忍耐力や、人生を生き抜くためのバイタリティーも備わるものだと思います。

このような豊かな人間性は、人との触れ合い、社会を知ることによって育まれるのではないのでしょうか。失敗をおそれずに、何事にも全力を持ってチャレンジしていこうではありませんか。

この辺でちょっと一休み

父子伝

父子伝

酒に酔って戻った親父が「これ俵、おのれの頭は三つに見える。そんな片輪者に跡は譲れぬ！」とどなりますと、これもへべれけの息子

「ケツ、こんなぐるぐる回る家はいらんわ」

(安永二、坐笑産)

半永久

貸家札を度々はがされ、ごうをにやした大家が木札に黒々と『貸家』と書き、五寸釘で、しっかり打ちつけまして、「これなら四、五年がとこるもとう」

(安永三、軽口五色俵)

東京銀座RC元会員

岡田晃雄著

「江戸小咄和英文柄」から

2009 12 月



December

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
11/29	11/30 ◆南RC 卓話 馬場輝仁会員	12/ 1 ◆北RC 年次総会	2 ◆三条RC 年次総会	3 ◆東RC 年次総会	4	5
6	7 ◆南RC 年次総会 ◇南RC 親睦委員会 打合せ会 18:30～ 於:松木屋	8 ◆北RC 会員企業社員 による卓話 おゝ乃 料理長 藤澤 博様 ロイヤル 課長 有本 浩之様	9 ◆三条RC 卓話 荻根澤隆雄 会員	10 ◆東RC 卓話 田村松英会員	11	12
13 ☐ 東山ガバナー エレク壮行会 於:柏崎市 岬館	14 ◆南RC 外部卓話 三条商業高校 校長 石井 充 様	15 ◆北RC 卓話 西村 護 会員	16 ◆三条RC クリスマス例会 於:越前屋 ホテル ※記帳できます	17 ◆東RC 卓話 玉木 敏 会員	18	19 ☐地区 運営会議 於:上越市 宇喜世
20	21 ◆南RC 忘年家族会 18:30～ 於:餞心亭 おゝ乃	22 ◆北RC クリスマス パーティ 於:ロイヤル ※記帳できます	23 天皇誕生日 ◆三条RC 休 会	24 ◆東RC クリスマス例会 於:ロイヤル ※記帳できます	25	26
27	28 ◆南RC クラブ休会	29 ◆北RC クラブ休会 ※記帳できます	30 ◆三条RC クラブ休会	31 ◆東RC クラブ休会 ※記帳できます		

***近隣RC例会変更のお知らせ**

- 吉田RC 12月 4日(金) ガバナー公式訪問
- 加茂RC 10日(木) ガバナー公式訪問
17日(木) クリスマスパーティ
- 燕RC 17日(木) → 15日(火) クリスマス家族会
- 分水RC 22日(火) クリスマス家族会

記帳場所

山岸会計事務所
加茂産業会館 2F
//
燕三条ワシントンホテル
新潟大栄信用組合/本店



表紙について

アメデオ・モディリアーニ

(1884-1920)

「ジャンヌ・エビュテルヌの肖像」

1918年

*財団法人大原美術館

A.MODIGLIANI

ロータリーの友 1990年3月号表紙より

三条南ロータリークラブ週報

2009.11.16

No.1933 No.16